

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2020年6月②号



議会報告 文化環境委員会報告 (6月9日)

公設喫煙所の解除について質疑しました。

京都市内には京都市が設置している喫煙所が18ヶ所あります。新型コロナウイルス対策として、緊急事態宣言がされる間、閉鎖されていましたが、社会経済活動が再開され、ソーシャルディスタンスを保つ対策を取り、閉鎖解除するという報告がありました。

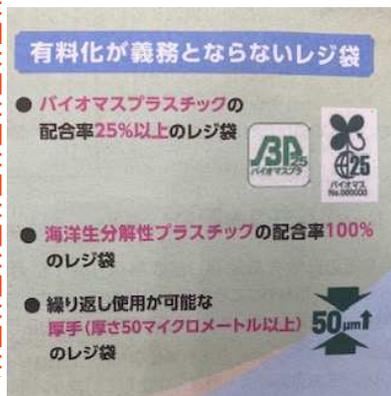
私は京都駅の5箇所の喫煙所を調査して質問に臨みました。喫煙所と言ってもパーティションで仕切っているだけで、煙は入り口や足元、上から漏れます。しかも写真は京都駅北口広場の喫煙所ですが、中に9人、外に7人が喫煙していました。中には「会話時にはマスク使用」「人との間隔は2m」と貼り紙がしてありますが、喫煙所内で3密を避けるのは困難です。つまり、喫煙者は喫煙しながら、受動喫煙もしているということですし、周辺に漏れる煙で受動喫煙している人も多くあるということです。緊急事態宣言は解除されてもまだまだ注意が必要な時の解除は拙速だということと、**PM2.5**の計測もすべきだと追及しましたが、「調査の予定はない。喫煙者との共存の立場で対策する」との答弁でしたが、喫煙者の健康を守る立場で対策をとるべきです。



京都駅北口広場の喫煙所

7月1日～レジ袋の有料化が始まります。

5月京都市議会での条例改正で、レジ袋有料化が可決されました。日本共産党京都市会議員団は、有料化でマイバッグ持参が増えて、プラスチック製品を減らすことに繋がるということで賛成しました。ただし、問題は「特定レジ袋」という例外規定を作り、抜け穴が作られたことです。下の図の通り、バイオマス素材**25%**以上、生分解性プラ配合、繰り返し使える厚みのあるレジ袋(10μm)は**無料**でもよいということになります。海洋生分解性プラやバイオマス素材の袋は**100%**のプラ袋よりは、環境に**少し**は優しいかもしれませんが、プラはプラです。特定レジ袋であろうと普通のレジ袋であろうと、発生抑制をする必要があることを付帯決議に付ける提案を行いました。他会派の皆さんに賛同が得られず、議長が閉会本会議で会派の意見として報告されることにとどまりました。



引き続き、プラスチックを減らす取り組みを強く頑張ります。

つばやき：パートナーシップ宣誓制度がやっと実現へ！

同性のカップルをパートナーとして認める制度です。民法上、同性者の婚姻を認めていません。そこで、自治体独自に制度を作り始めました。私は2017年9月の代表質問で策定を求めていました。先に東京渋谷区、大阪市などが次々と策定したのに、京都市は遅すぎます。緊急時に家族と認められず、病院の集中治療室に入れてもらえなかったとか、市営住宅の申し込みができなかったとかいろいろ課題がありました。制度ができて進むことに期待します。パブリックコメントはしないとのこと、問題ですが、ご意見は京都市にどんどん上げてもらえたらと思います。実施は9月からです。

右から玉本市議、浜田府議



梅雨にも入り、蒸し暑い日が多くなってきました。熱中症にご注意ください。特にマスクをしていると熱がこもりやすくなります。のどが渇いていなくても、定期的に水分を取る癖をつけた方がいいということです。私もマスクをつけての宣伝や質問はマスクがずれてきたり、熱くなったり大変ですが、だいぶ慣れてきました。東京でのナイトクラブなどで感染者が出ているようですが、飲食時はマスクを外し、しゃべるときは換気が難しいですね。

熱中症に要注意！ やっぱり3密対策を

1人10万円の定額給付金の申請はお済みですか？「字が小さい」「コピーをどこでしよう」など、お声をお聞きします。区役所や日本共産党にご相談ください。補助制度などもご相談ください。先日は「持続化給付金」の申請のお願いをした方から、「振り込まれた」と嬉しい知らせをいただきました。制度の問題点などの勉強になりますので、ぜひ、お困りなことがあれば、お声掛けください。

アンケート やっと定額給付金

